

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	伊勢崎市水質に関する検討委員会 (第5回伊勢崎市水質に関する検討委員会)
開 催 日 時	令和8年8月19日(火) 午後2時00分～午後3時00分
開 催 場 所	伊勢崎市清掃リサイクルセンター21
出 席 者 氏 名	(委員8名) 片亀委員長、宮里副委員長、佐藤委員、吹上委員、矢尾委員、大澤委員、深町委員、本田委員 ※欠席者 山崎委員 (事務局2名) 小保方課長、興石環境企画係長
傍 聴 人 数	なし
会 議 の 議 題	議題「グリストラップについて」
会 議 資 料 の 内 容	1. 次第 2. グリストラップ調査票
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	【第5回伊勢崎市水質に関する検討委員会】 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題「グリストラップについて」 ※質問や委員のご意見は以下のとおり。 委 員 調査表の5か所のうち、調理量は子供の数かと思うが、排水量はどうか。 事務局 排水量は、下水道使用量としても使用している水道使用量となっている。 委 員 そうすると、グリストラップを通った量とは相違があるということか。 事務局 そのとおりです。

	委 員 鹼化システムのモデルとして選ぶとすれば、どこの施設にするかということだが、下水道より浄化槽の施設の方が前後の水を採りやすいのではないか。 グリストラップに入る前と浄化槽に入る前で採れるのではないか。 浄化槽に与えている影響もわかるのではないか。 委 員 どのように使っているのかなど実際に見てみないとわからないこともある。 施設では掃除した後の油はどうしているのか。 委 員 可燃物として処理されるのではないか。 委 員 油は産業廃棄物になる可能性がある。 委 員 その辺りの話は、今回の議題とは関係がないので、後で事務局に確認してもらおうということでのよいのではないか。 委 員 下水道に接続している施設にした方がよいか、浄化槽を設置している施設にした方がよいか。 委 員 浄化槽の方がよいのでは。 網の清掃なども確認する必要がある。 委 員 いくつかの施設は確認したことがあるが、規模が小さいので鹼化システムが運用できるかどうかという問題があると思う。 浄化槽自体は大きい、グリストラップは小さいと思う。 委 員 導入できる最低限の容量などはあるのか。 委 員 150リットルは欲しい。 委 員 鹼化した油も浄化槽にとっては負荷になるので、下水道に接続している施設で様子を見た方がよいのでは。 委 員 浄化槽に設置した事例としては、スーパーマーケットなどがあるが、浄化槽の容量が大きいので、影響が少ない可能性がある。原水層を設けているので、より影響が小さい可能性がある。 オーバーフローで流れていき、p h 9 前後で浄化槽に入ると思うので大丈夫だとは思いますが、規模が小さいと浄化槽に影響が出る可能性がある、下水道接続施設で様子を見た方がよいかもしれない。 配管の油も洗浄できるので、それらを見るのもよいと思う。 第4保育所は排水量が多いのでよいと思うが、実際に見てみないとわからない。 委 員 どこか1か所で実施することは可能か。
--	---

	来年度の予算などで実施する場合、期限はどれくらいになるか。
事務局	当初予算の編成事務は9月頃から始まることが多いので、早ければ早いほどよい。
委員	やってみたいという思いもあるので、予算がないならこちらの負担でやることも考える。
委員	私が現場確認などに回ってもよい。 目視で確認できるものは確認することができる。
委員	委員の申し出により、現状の予算でもできるのではないか。 水質の測定項目は、BOD、ノルマルヘキサン抽出物質などが考えられるが、他にはあるか。
委員	SS、COD、pH、温度などが考えられる。
委員	6項目の水質検査が必要として、2回程度は測定したいが、採水場所はどこになるか。
委員	グリストラップの最終槽になるのではないか。
委員	第一槽も必要ではないか。
委員	どこの部分で採水するかで測定値が変わるので難しい。
委員	法令であれば、公共下水に入るところとなる。
委員	最終槽で判断するというところでどうか。
委員	巻き上がったりとするとBODが上がってしまう。食洗器などが動くとBODやノルマルヘキサン抽出物質などが急に上がることもある。 どのタイミングで測るかも大事だと思う。
委員	委員が確認する項目はどういった内容になるか。
委員	容量、寸法、設置場所などとなる。周辺の写真撮影なども行う。
委員	設置するには、天板を切らなければならない。 また、仕切板も重要。仕切板があまり上に出ていない方がよい。上に出ていたら均一に循環できないので、取り外さなければならない。穴が開いている仕切板もあり、そういった仕切板であれば対応が可能。
委員	委員の調査をまって次の協議を行いたい。
委員	訪問の時期は事務局と調整させていただく。

	委 員 今回は10月下旬くらいに開催したい。 ところで、伊勢崎市の汚水処理人口普及率と下水道普及率はどれくらいか。 事務局 令和7年度の本市の汚水処理人口普及率は、71.7%となっている。 下水道普及率は令和6年度の数値になるが、36.8%となっている。 委 員 せっかくなので、委員の皆様から情報提供などあれば伺いたい。 委 員 エシカルバンブーといって、竹の有効活用を行っている団体がある。 委 員 グリストラップの自動化システムのことを考えている。 委 員 伊勢崎市は水質汚濁防止法の権限を持っているため、伊勢崎市域は群馬県ではなく伊勢崎市が事務を行っているが、権限移譲前には伊勢崎市内の事業所に立ち入り調査をしていたことがあるので、懐かしい。 渋川市でPFOS・PFOAが問題になったが、渋川市も何が原因なのかつきとめられず、対応がむずかしい。 新しい化学物質について懸念がある。 委 員 人工透析している医療施設の排水によりコンクリート管が腐食するなどの問題がある。 硫化水素について、伊勢崎市もマンホールポンプ場も含めて点検をした方がよいと思う。吐き出し口を見た方がよい。2年でボロボロになった事例もあった。 委 員 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換が重要。 官民一緒になって解決しようという流れが強くなってきている。転換率を上げるために情報交換をして進めている。 委 員 合併処理浄化槽については、群馬県も進めている。 委 員 本日の協議は、飲食店からのグリストラップの排水をきれいにするというところから始まっている。 食品の消費税が1%になると飲食店の客が減るかもしれないと言われることもあるが、そのようなことはないと思う。 今も経営を続けている飲食店は活路があると思う。群馬県は、これからも飲食店は増えていくと思うので、グリストラップを含めた排水の意識を高めてほしい。食品衛生協会などにも提案できるようにしたいと思っている。 委 員 飲食店の場合は、居抜きで入れ替わった場合に、排水に気を付けることが重要。
--	---

	委 員	飲食店の場合、居ぬきで違う店が入る場合も多い。
	委 員	私は、硫化水素に係る微生物について研究しているが、八潮市の事例を注目している。 水がよどめば硫化水素を発生させる微生物が発生する。段差があれば腐食する。 油を流さないことが重要と考えている。経験等を生かせればと思う。 最近では、インフラにもA Iが入ってきている。どう組み合わせていくかが重要。知見を提供していきたい。
	4 閉会	